2024年２月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年４月11日

上 場 会 社 名　　株式会社ベルク　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9974　　URL　https://www.belc.jp
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）原島　一誠
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役コンプライアンス室長兼財務経理部・業務サポート部・サステナビリティ広報室管掌兼法務担当　（氏名）上田　英雄　（TEL）049-287-0111
定時株主総会開催予定日　2024年５月23日　配当支払開始予定日　2024年５月24日
有価証券報告書提出予定日　2024年５月23日
決算補足説明資料作成の有無　：　有

決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

１．2024年２月期の連結業績（2023年３月１日～2024年２月29日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年２月期	351,856	13.2	14,495	3.4	14,972	4.7	10,677	11.1
2023年２月期	310,826	―	14,018	―	14,297	3.0	9,614	4.6

（注）包括利益　2024年２月期　10,726百万円（　8.5%）　2023年２月期　9,889百万円（　7.2%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年２月期	512.25	―	11.2	8.5	4.2
2023年２月期	461.02	―	11.0	8.9	4.6

（参考）持分法投資損益　2024年２月期　―百万円　2023年２月期　―百万円

（注）2023年２月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準29号）等を適用しており、上記の連結経営成績は当該会計基準等を適用した金額となっておりますが、比較対象となる会計処理方法が異なるため、2023年２月期の営業収益及び営業利益の対前期増減率は記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年２月期	184,363	99,965	54.2	4,795.60
2023年２月期	169,306	91,304	53.9	4,380.11

（参考）自己資本　2024年２月期　99,965百万円　2023年２月期　91,304百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年２月期	21,059	△16,227	△3,382	17,028
2023年２月期	15,618	△15,928	4,097	15,579

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年２月期	―	45.00	―	49.00	94.00	1,961	20.4	2.2
2024年２月期	―	50.00	―	58.00	108.00	2,253	21.1	2.4
2025年２月期（予想）	―	58.00	―	58.00	116.00		20.3	

３．2025年２月期の連結業績予想（2024年３月１日～2025年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	376,724	7.1	17,509	20.8	17,630	17.8	11,906	11.5	571.18

※　注記事項

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年２月期	20,867,800株	2023年２月期	20,867,800株
②　期末自己株式数	2024年２月期	22,619株	2023年２月期	22,587株
③　期中平均株式数	2024年２月期	20,845,182株	2023年２月期	20,853,781株

（参考）　個別業績の概要

１．2024年２月期の個別業績（2023年３月１日～2024年２月29日）

（１）個別経営成績　（%表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年２月期	352,015	13.2	13,698	2.7	14,128	3.9	10,109	10.5
2023年２月期	311,025	—	13,335	—	13,592	0.0	9,148	1.6

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年２月期	484.99	—
2023年２月期	438.69	—

（注）2023年２月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準29号）等を適用しており、上記の経営成績は当該会計基準等を適用した金額となっておりますが、比較対象となる会計処理方法が異なるため、2023年２月期の営業収益及び営業利益の対前期増減率は記載しておりません。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年２月期	181,418	94,215	51.9	4,519.78
2023年２月期	167,069	86,162	51.6	4,133.44

（参考）自己資本　2024年２月期　94,215百万円　2023年２月期　86,162百万円

２．2025年２月期の個別業績予想（2024年３月１日～2025年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	376,924	7.1	16,812	19.0	11,374	12.5	545.68

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の３ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（セグメント情報等） …… 12
（１株当たり情報） …… 12
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しました。しかしながら、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等により、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費の持ち直しが見られるものの、消費者物価が緩やかに上昇し続けることに起因した買い控えや、消費の二極化が起きており、世界的なエネルギー価格高騰による販売管理費の増加や、度重なる食料品の調達価格の上昇等、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客様に支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

主な取り組みにつきましては、以下のとおりであります。

販売政策におきましては、ポイントカード販促やチラシ価格の強化、ＳＮＳを利用したおすすめ情報の発信を行い、幅広い層のお客様への来店動機を高めてまいりました。ネットスーパー「ベルクお届けパック」、当社独自の電子マネーカード「ベルクペイ」は導入店舗を拡大し、利便性向上を図ってまいりました。また、移動スーパー「とくし丸」も拡大展開を続け、高齢者等に対する買物支援の取り組みを進めました。

商品政策におきましては、プライベートブランド「くらしにベルク kurabelc（クラベルク）」を含めた自社開発商品の取扱いをより一層拡大することで、目的を持ってお買い物に来ていただけるお客様を増やすことに貢献いたしました。

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にしながら、適正な人員配置や省力器具の運用を日々見直し、チェーンオペレーションの高効率化を推進いたしました。

店舗投資におきましては、新店を６店舗、2023年５月に東京都八王子市に「フォルテ八王子店」、６月に埼玉県和光市に「光が丘店」、９月に千葉県富里市に「フォルテ富里店」、12月に茨城県古河市に「古河諸川店」、2024年１月に千葉県船橋市に「船橋藤原店」、２月に千葉県野田市に「野田山崎店」を出店いたしました。また、既存店６店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買い物空間を提供するための設備の更新を行いました。そのうちの２店舗である群馬県高崎市の「江木店」と群馬県太田市の「竜舞店」は、新業態の「クルベ」としてそれぞれ2023年７月、2024年２月にリニューアルオープンいたしました。なお、８月に埼玉県児玉郡上里町の「上里SC店」を閉店し、2024年２月末現在の店舗数は138店舗であります。

物流体制におきましては、商品を産地やメーカーから大量一括調達し、自社物流を活かした配送の高効率化等を行うことで、商品の価格強化と品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

一方、グループ会社である「株式会社ホームデリカ」は、製造能力の増強とおいしい商品の供給体制を構築し、店舗の効率化を図ってまいりました。また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給と開発、また、店舗の清掃業務等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度における経営成績は、営業収益（売上高及び営業収入）が351,856百万円（前年比113.2％）、営業利益が14,495百万円（前年比103.4％）、経常利益が14,972百万円（前年比104.7％）、親会社株主に帰属する当期純利益が10,677百万円（前年比111.1％）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15,057百万円増加し184,363百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,226百万円増加し36,908百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,448百万円、商品及び製品が1,066百万円及び売掛金が1,020百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ10,830百万円増加し147,455百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が5,389百万円及び土地が3,087百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債は、前連結会計年度末に比べ6,396百万円増加し84,398百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7,150百万円増加し45,444百万円となりました。この主な要因は、買掛金が3,267百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ753百万円減少し38,954百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が802百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ8,660百万円増加し99,965百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が8,612百万円増加したこと等によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,448百万円増加し、17,028百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、21,059百万円（前年同期に比べ5,440百万円増加）となりました。これは、「仕入債務の増減額」が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、16,227百万円（前年同期に比べ298百万円増加）となりました。これは、差入保証金の差入による支出が減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3,382百万円（前年同期に比べ7,480百万円増加）となりました。これは、長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

（４）今後の見通し

次期における経営環境におきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。しかしながら、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、また、物価の上昇や供給面での制約等、先行き不透明な状況が続くと思われます。

小売業界におきましては、原材料価格や商品製造コストの高騰による物価の上昇や、個人消費の停滞、金融市場の急激な変動等による景気の下振れリスクが懸念され、引き続き厳しい状況が続くと思われます。

このような状況の中で当社グループは、お客様に支持され信頼されるお店となるべく、購買頻度の高い商品群の価格強化を一層推進するとともに、自社ブランド「くらしにベルク kurabelc（クラベルク）」や直輸入商品の取扱い等を拡大し、商品力強化及び売場の活性化を図ってまいります。

販売政策におきましては、ポイントカード販促及びチラシ価格の強化、各種キャンペーンの実施や自社決済サービスの拡充により、お客様の来店動機を高め、こだわり商品の訴求、品切れの削減及び接客レベルの向上を引き続き行うことで、固定客化を図ってまいります。

店舗運営におきましては、標準化の徹底及び効率的なチェーンオペレーションを強化し、また、業務内容及び設備等の見直しを図り、新たな店舗モデルの構築等を通じて、販売管理費の削減を推進してまいります。また、従業員教育の充実を図り、商品力の強化及びサービスレベルの向上に取り組んでまいります。

店舗投資におきましては、当社グループの強みである標準化を維持しつつ、東京都練馬区に開業いたしました「練馬高松店」をはじめとする８店舗の新規出店を計画しております。

物流体制におきましては、原油価格の高騰に対応すべく、さらなる配送の効率化、店舗への納品時間短縮を目指し、また物流の2024年問題を見据えた配送経路の見直し等も取り組んでまいります。

グループ会社におきましては、「株式会社ホームデリカ」は、新第一工場のさらなる安定稼働を目指しつつ、おいしい自社開発商品の製造及び管理体制の充実を図り、きめ細かい商品供給と商品力の強化、店舗作業の軽減及び利益貢献を行ってまいります。「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給と開発等、当社グループのサービス業務の強化に取り組んでまいります。

通期における当社グループの業績見通しは、次のとおりであります。

営業収益（売上高及び営業収入）376,724百万円（前年比107.1%）、営業利益17,509百万円（前年比120.8%）、経常利益17,630百万円（前年比117.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益11,906百万円（前年比111.5%）と想定しております。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2023年２月28日）	当連結会計年度 （2024年２月29日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,579	17,028
売掛金	4,148	5,168
商品及び製品	7,891	8,957
原材料及び貯蔵品	428	471
その他	4,634	5,282
流動資産合計	32,682	36,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	113,427	123,211
減価償却累計額	△43,481	△47,876
建物及び構築物（純額）	69,945	75,335
機械装置及び運搬具	3,782	4,025
減価償却累計額	△1,400	△1,707
機械装置及び運搬具（純額）	2,381	2,317
工具、器具及び備品	10,456	12,211
減価償却累計額	△6,089	△7,028
工具、器具及び備品（純額）	4,367	5,183
土地	40,288	43,375
リース資産	2,118	587
減価償却累計額	△1,714	△406
リース資産（純額）	403	181
建設仮勘定	1,501	1,857
有形固定資産合計	118,888	128,251
無形固定資産	1,646	2,407
投資その他の資産		
投資有価証券	110	123
退職給付に係る資産	106	168
繰延税金資産	2,612	2,754
差入保証金	9,522	9,001
その他	3,793	4,754
貸倒引当金	△55	△5
投資その他の資産合計	16,089	16,796
固定資産合計	136,624	147,455
資産合計	169,306	184,363

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2023年２月28日）	当連結会計年度 （2024年２月29日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,940	23,208
1年内償還予定の社債	428	428
1年内返済予定の長期借入金	7,273	7,445
リース債務	258	72
未払法人税等	2,782	2,126
契約負債	515	624
賞与引当金	1,193	1,276
役員賞与引当金	91	93
その他	5,809	10,170
流動負債合計	38,294	45,444
固定負債		
社債	2,571	2,142
長期借入金	25,054	24,252
リース債務	245	172
役員株式給付引当金	27	63
預り保証金	5,143	5,234
資産除去債務	6,043	6,526
その他	622	561
固定負債合計	39,708	38,954
負債合計	78,002	84,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,912	3,912
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	83,373	91,985
自己株式	△118	△118
株主資本合計	91,270	99,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	22
退職給付に係る調整累計額	21	60
その他の包括利益累計額合計	34	83
純資産合計	91,304	99,965
負債純資産合計	169,306	184,363

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年３月１日 至 2023年２月28日）	当連結会計年度 （自 2023年３月１日 至 2024年２月29日）
売上高	305,561	346,072
売上原価	220,951	251,907
売上総利益	84,610	94,165
営業収入	5,264	5,784
営業総利益	89,874	99,949
販売費及び一般管理費	75,855	85,453
営業利益	14,018	14,495
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	40
受取事務手数料	89	95
補助金収入	67	230
受取退店違約金	―	2
債務勘定整理益	12	―
その他	186	262
営業外収益合計	399	631
営業外費用		
支払利息	98	120
社債利息	0	9
社債発行費	13	―
その他	8	25
営業外費用合計	120	155
経常利益	14,297	14,972
特別利益		
固定資産売却益	146	―
投資有価証券売却益	0	―
資産除去債務戻入益	―	20
特別利益合計	147	20
特別損失		
固定資産売却損	0	18
固定資産除却損	89	240
減損損失	112	―
特別損失合計	202	258
税金等調整前当期純利益	14,241	14,733
法人税、住民税及び事業税	4,808	4,218
法人税等調整額	△180	△162
法人税等合計	4,627	4,055
当期純利益	9,614	10,677
親会社株主に帰属する当期純利益	9,614	10,677

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年３月１日 至 2023年２月28日）	当連結会計年度 （自 2023年３月１日 至 2024年２月29日）
当期純利益	9,614	10,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	9
退職給付に係る調整額	260	39
その他の包括利益合計	275	48
包括利益	9,889	10,726
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	9,889	10,726
非支配株主に係る包括利益	―	―

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年３月１日　至 2023年２月28日)

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,912	4,102	75,880	△3	83,891	△2	△238	△241	83,650
会計方針の変更による累積的影響額			△201		△201				△201
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,912	4,102	75,678	△3	83,690	△2	△238	△241	83,449
当期変動額									
剰余金の配当			△1,919		△1,919				△1,919
親会社株主に帰属する当期純利益			9,614		9,614				9,614
自己株式の取得				△114	△114				△114
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						15	260	275	275
当期変動額合計	－	－	7,694	△114	7,579	15	260	275	7,855
当期末残高	3,912	4,102	83,373	△118	91,270	12	21	34	91,304

当連結会計年度(自 2023年３月１日　至 2024年２月29日)

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,912	4,102	83,373	△118	91,270	12	21	34	91,304
会計方針の変更による累積的影響額					－				－
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,912	4,102	83,373	△118	91,270	12	21	34	91,304
当期変動額									
剰余金の配当			△2,065		△2,065				△2,065
親会社株主に帰属する当期純利益			10,677		10,677				10,677
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						9	39	48	48
当期変動額合計	－	－	8,612	△0	8,612	9	39	48	8,660
当期末残高	3,912	4,102	91,985	△118	99,882	22	60	83	99,965

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年３月１日 至 2023年２月28日）	当連結会計年度 （自 2023年３月１日 至 2024年２月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,241	14,733
減価償却費	6,524	6,968
減損損失	112	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△50
賞与引当金の増減額（△は減少）	51	82
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	7	1
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△447	－
契約負債の増減額（△は減少）	515	108
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△248	－
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	268	△5
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△235	－
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	27	36
受取利息及び受取配当金	△42	△40
支払利息	98	120
社債利息	0	9
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	－
固定資産売却損益（△は益）	△145	18
固定資産除却損	89	240
売上債権の増減額（△は増加）	△609	△1,020
棚卸資産の増減額（△は増加）	△918	△1,109
仕入債務の増減額（△は減少）	2,023	3,267
預り保証金の増減額（△は減少）	△12	△2
その他	△573	2,708
小計	20,724	26,067
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△72	△113
法人税等の支払額	△5,038	△4,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,618	21,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,538	△17,117
有形固定資産の売却による収入	867	2,013
有形固定資産の除却による支出	△68	△145
無形固定資産の取得による支出	△271	△1,033
投資有価証券の取得による支出	△10	－
投資有価証券の売却による収入	3	－
貸付けによる支出	△90	△130
貸付金の回収による収入	19	20
差入保証金の差入による支出	△403	△1,623
差入保証金の回収による収入	296	394
差入保証金の売却による収入	－	1,265
預り保証金の受入による収入	738	655
預り保証金の返還による支出	△390	△393
資産除去債務の履行による支出	－	△4
その他	△81	△128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,928	△16,227

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年３月１日 至 2023年２月28日）	当連結会計年度 （自 2023年３月１日 至 2024年２月29日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△500	－
長期借入れによる収入	11,000	7,000
社債の発行による収入	3,000	－
長期借入金の返済による支出	△6,796	△7,630
社債の償還による支出	－	△428
自己株式の取得による支出	△114	△0
リース債務の返済による支出	△570	△258
配当金の支払額	△1,919	△2,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,097	△3,382
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,787	1,448
現金及び現金同等物の期首残高	11,791	15,579
現金及び現金同等物の期末残高	15,579	17,028

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前連結会計年度（自　2022年３月１日　至　2023年２月28日）

当社グループは、小売業のみを営んでおり、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自　2023年３月１日　至　2024年２月29日）

当社グループは、小売業のみを営んでおり、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2022年３月１日 至　2023年２月28日）	当連結会計年度 （自　2023年３月１日 至　2024年２月29日）
１株当たり純資産額	4,380円11銭	4,795円60銭
１株当たり当期純利益	461円02銭	512円25銭

（注）１　潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

２　役員報酬ＢＩＰ信託が保有する当社株式を、「１株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（前連結会計年度21千株　当連結会計年度21千株）。

３　１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自　2022年３月１日 至　2023年２月28日）	当連結会計年度 （自　2023年３月１日 至　2024年２月29日）
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	9,614	10,677
普通株主に帰属しない金額（百万円）	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	9,614	10,677
普通株式の期中平均株式数（株）	20,853,781	20,845,182

（重要な後発事象）

該当事項はありません。